

特別賞

有限会社サンスコーポレーション

<p>名 称</p>	<p>卓上型動的粘弾性測定装置「MGレオアナライザー」</p>		
<p>概 要</p>	<p><概要> 超磁歪アクチュエータを用いた卓上型動的粘弾性測定装置です。「ねばり」と「弾力」を数量化した粘弾性を評価する装置で固体、液体、いずれの試料も測定できます。ペースト、ゲルなど従来の粘度計や物理試験機では評価の難しい材料や製品の品質判定に最適な測定装置であり、食品、化成品など様々な分野で利用可能です。</p> <p><新規性（従来技術との違い）> ・強力で正確な正弦振動をつくり出す超磁歪アクチュエータを利用しました。超磁歪素子はアメリカで潜水艦のソナーに利用される新材料ですが、当社はこの素子を用いて正確な振動をつくり出す駆動方法を埼玉県と共同開発し、世界で初めて超磁歪素子の民生利用に成功しました。その結果、装置は大幅に小型・軽量化され、設置場所の心配はなくなりました。</p> <p>・利用者の視点で設計開発しており、試料の形態や用途に応じて様々な測定治具を使い分け、的確に必要な物性値を得ることができます。また簡単な操作で温度依存性、周波数依存性など様々な応用測定も可能です。</p> <p>・従来装置に比較して大幅に低価格化され、商品開発や品質管理に広く利用できます。</p> <p><市場性> ゴム、プラスチック、塗料、接着剤、化粧品、軟膏、フィルム、医薬などの化学分野や、農作物、畜水産物、乳飲料、麺、豆腐、納豆、和洋菓子などの食品分野で、大学や研究機関等も含め、幅広く利用することができます。</p> <p>国内外含めて粘弾性測定が注目されつつある中、少なくとも数万～数十万台の市場規模は期待できます。</p>		
<p>用途 (利用・使用実績等)</p>	<p>これまでに、大学や食品メーカー等に納入し、新製品の開発や品質管理等に使用されており、好評をいただいております。</p>		



<p>所在地</p>	<p>埼玉県さいたま市緑区大間木17-3</p>		
<p>電 話</p>	<p>048-875-3940</p>	<p>F A X</p>	<p>048-873-1926</p>
<p>U R L</p>	<p></p>		